

第 34 回オリンピック競技大会（2028/ロサンゼルス）

トライアスロン競技日本代表選手・選考基準

〔1〕 概要

公益社団法人トライアスロンジャパン（以下「TRIJ」という。）は、定款第 4 条第 1 項 3 号に基づき、第 34 回オリンピック競技大会（2028/ロサンゼルス）トライアスロン競技の日本代表選手・選考基準（以下「本基準」という。）を策定する。本基準により、女子個人、男子個人およびミックスリレーの各種目の代表選手を選考する。

〔2〕 開催日と競技会場

1) 開催日	2028 年 7 月 15 日（土） 女子個人・決勝 2028 年 7 月 16 日（日） 男子個人・決勝 2028 年 7 月 20 日（木） ミックスリレー決勝
2) オリンピック競技会場	アメリカ合衆国・ロサンゼルス・ベニスビーチ

〔3〕 選考基準適用期間

1) オリンピック・クオリフィケーション・ピリオド	2026 年 5 月 18 日（月）～2028 年 5 月 18 日（木）
---------------------------	---------------------------------------

〔4〕 国別出場枠と出場資格

1) 国別出場枠（NOC 枠）	・最大男女各 3 名（男子個人・女子個人）、男女各 2 名（ミックスリレー） ・NOC 枠は、ワールドトライアスロン（以下「TRI」という。）出場資格システムに基づき、TRI が 2028 年 5 月 22 日に決定する。
2) 出場資格	1) 日本国籍を有し、公益財団法人日本オリンピック委員会（以下「JOC」という。）の派遣基準を満たしていること。 2) 2028 年 5 月 18 日時点におけるワールドトライアスロン・ランキング（以下「WTR」という。）が 160 位以内であること。

[5] 本大会の目標と選考方針

<2028 ロサンゼルスオリンピック目標>

「ミックスリレーにおける 8 位入賞を最大目標に掲げ、個人においては男子メダル獲得、女子 2 名出場を目指す」

<選考方針>

1. 定量評価に基づく選考

TRI の定めるランキング、TRIJ 独自の集計ランキングおよび選考大会の順位を基準とし、客観的な数値に基づき選考を行う。

2. 日本代表としての自覚

日本代表としての責任を自覚し、常に最善を尽くし正々堂々と競技に臨む者を選考する。

3. 不測の事態への対応

選考期間中に不測の事態が生じた場合は、本基準内の「留意事項」に基づき調整を行う。

[6] 選考大会・ランキング

1) 選考ランキング

1-1) <u>ワールドトライアスロン・個人オリンピックオリフィケーションランキング (IOQR)</u>	
対象期間	2026年5月18日(月)～2028年5月18日(木)
算出方法	ワールドトライアスロン・個人オリンピックオリフィケーションランキング (IOQR) 基準に基づく。

1-2) <u>トライアスロンジャパン・オリンピックオリフィケーションランキング (TRIJOQR)</u>	
対象期間	2026年5月18日(月)～2028年5月18日(木)
算出方法	ワールドトライアスロン・個人オリンピックオリフィケーションランキング (IOQR) および、ワールドトライアスロン・ミックスリレーオリンピックオリフィケーションランキング (MROQR) を基に、TRIJ が定めた方法で集計する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><IOQR の加算方法></p> <p>個人が獲得した IOQR ポイントを、そのまま加算する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><MROQR の加算方法></p> <p>個人が第 1 走、第 2 走、第 3 走または第 4 走で出場した大会のうち、指定期間内の最大 6 大会における日本チーム獲得ポイントを、以下の換算率で算出し加算する。なお、日本チーム獲得ポイントは分割せず、そのまま換算対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 パート (2026 年 5 月 18 日～2027 年 5 月 18 日) : 最大 3 大会の結果を 25% に換算 ・第 2 パート (2027 年 5 月 19 日～2028 年 5 月 18 日) : 最大 3 大会の結果を 25% で換算 <p>* IOQR および MROQR による加算ポイントは、小数点第 2 位 (第 3 位を四捨五入) までとする。</p> <p>* 第 20 回アジア競技大会 (2026/愛知・名古屋) に関する特例 本大会も第 1 パートの対象大会に含まれる。ただし、本大会においては、ミックスリレーへの出走有無に関わらず、日本代表選手 (男女各 3 名、計 6 名) 全員に対し、日本チームが獲得したポイントを 25% に換算して加算する。なお、この場合も第 1 パートの加算大会は最大 3 大会迄とする。</p> </div>

2) 選考大会

開催日程	大会名称	略称	開催国
2027年*月	ワールドトライアスロン・オリンピックテストイベント (2027/ロサンゼルス)	WTOTE	アメリカ
2027年9月	ワールドトライアスロン・チャンピオンシップファイナル (2027/ハンブルグ)	WTCF	ドイツ
第 2 パート 2027年5月19日～ 2028年5月18日	ワールドトライアスロン・チャンピオンシップシリーズ 各大会	WTCS	未定

[7] 選考基準

1.男子個人および女子個人の代表選手は、次の順で選出する。

- 1) 下記各号の該当選手を 1-1)から順番に NOC 枠に達するまで選出する。
 - 1-1) WTOTE 1-3 位
 - 1-2) WTCF 1-3 位
 - 1-3) WTOTE 4-8 位
 - 1-4) WTCF 4-8 位
 - 1-5) WTCS (第 2 パート) 6 位以内を 2 回以上
 - 1-6) WTCS (第 2 パート) ・WTCF・WTOTE 10 位以内を 3 回以上

各号の該当選手が複数名おり、NOC 枠を超える場合には、次により選出する。

- a) 1-1), 1-2), 1-3), 1-4)においては、当該大会における上位選手を選出する。
 - b) 1-5), 1-6)においては、当該選手が当該期間において達成した成績の順位の高い選手から選出する。
- なお、最上位の順位が同一であるときは、次の順位以降で順位が高い選手を選出する。

- 2) 1)の選出で NOC 枠に達しない場合には、次のそれぞれのケースに合わせ、該当選手を上位から順番に NOC 枠に達するまで選出する。

<ミックスリレー国別出場枠を獲得できたケース>

- 2-1) トライアスロンジャパン・オリンピックオリフィケーションランキング (「TRIJOQR」) * 2028 年 5月18 日時点

<ミックスリレー国別出場枠を獲得できなかったケース>

- 2-2) ワールドトライアスロン・個人オリンピックオリフィケーションランキング (「IOQR」) * 2028 年 5月18 日時点

* 入替候補) 男子個人および女子個人の代表選手がなんらかの理由により第 34 回オリンピック競技大会 (2028/ロサンゼルス) に出場できなくなった場合に備え、入替候補選手男女各 2 名を選出する。入替候補選手は、上記選出方法における次点の選手とする。

2.ミックスリレーの代表選手は、男子個人および女子個人の代表選手の中から、ロサンゼルス 2028 大会のリレー競技説明会までに TRIJ 強化本部・オリンピックナショナルチームが選出する。

[8] 留意事項

1) 競技内容の変更に対する対応

選考大会の競技内容が、TRI 競技規則等に準じて変更された場合は、次の方針で対応を行う。

- a) 選考大会が開催中止となったときは、代替大会は設けず、残りの選考大会の結果、TRIJOQR および IOQR を用いて [7] に従い選出する。
- b) 選考大会の競技距離がスタンダードディスタンス（以下「STD」という。）から次の内容に短縮となった場合は、当該大会の結果を、STD の場合と同様に選考大会の結果として扱う。
 - ・スプリントディスタンスに変更された場合
 - ・スイムの距離のみが短縮され、短縮後の距離が 750m 以上の場合
 - ・ランの距離のみが短縮され、短縮後の距離が 5km 以上の場合
- c) 選考大会の競技距離が b) 以外に短縮された場合および競技種目がデュアスロンまたはアクアスロンに変更となった場合は、当該大会を [6] 2)の選考大会から除外し、残りの選考大会の結果、TRIJOQR および IOQR を用いて [7] に従い選出する。
- d) 選考大会が c) により [6] 2)の選考大会から除外された場合においても、IOQR のポイントは TRI 競技規則に基づいて加算され、[7] 2) に基づく選考の際には有効なポイントとして勘案する。
- e) 選考ランキングである TRIJOQR および IOQR の対象大会がデュアスロンまたはアクアスロンに変更になった場合においても、TRIJOQR および IOQR のポイントは TRI 競技規則に基づいて加算され、[7] 2) に基づく選考の際には有効なポイントとして勘案する。

1) 紛争・感染症等による対応

紛争・感染症等の特別な事象により、本基準に基づいて代表選手を選考することが選考対象選手の公平性を著しく欠くことになると強化本部が判断した場合には、強化本部で代表選手選考にかかる代替方針を検討の上、代表選手選考委員会および TRIJ 理事会で審議を行い、TRIJ 理事会の決議により代替方針を決定する。

（想定される特別な事象例）

- ・選考大会出場予定の日本人選手が、選考大会直前に感染症に感染や濃厚接触者に認定され、選考大会に出場できなくなった場合
- ・選考大会の開催地に向けた空路が世界情勢に伴い欠航、経路も不可となり、選考大会出場予定の日本人選手が現地入りできなくなった場合

[9] 選考手順

- 1) 強化本部は、2028年5月22日に発表されるNOC枠決定の後、本基準に基づき代表候補選手（入替候補選手を含む。以下同じ。）を選出し、ロサンゼルス2028大会日本代表選手選考委員会およびTRIJ理事会に提出する。
- 2) ロサンゼルス2028選考委員会は、2028年5月末日までに、代表候補選手に失格事由がないかの審査を行い、その結果をTRIJに通知する。
- 3) TRIJ理事会は、2)の審査結果を踏まえ、2028年5月末日までに、代表候補選手に関する承認決議をし、JOCにその結果を提出する。
- 4) JOCは、派遣手続（ドーピング検査、メディカルチェック等）を経て、日本代表選手としての適性等を判断し、最終承認を行う。

[10] 関連事項

- 1) 本基準は、感染症、紛争、自然災害、関連基準の変更、関係各団体との調整などにより、変更されることがある。その場合はTRIJ理事会において、変更箇所に関する承認決議をし、速やかに公示するものとする。
- 2) ロサンゼルス2028大会日本選手団役員の選出方法については別途定める。

* LA2028 トライアスロン競技概要（関連ニュース）

<https://triathlon.org/news/the-ioc-approves-the-olympic-qualification-criteria-for-la28-olympics>

* LA2028 TRI クオリフィケーション・クライテリア

<https://cms.triathlon.org/download-file/los-angeles-2028-olympic-games-qualification-criteria-eng>

* ワールドトライアスロン・個人オリンピッククオリフィケーションランキング（IOQR）

<https://cms.triathlon.org/download-file/world-triathlon-individual-olympic-qualification-ranking-criteria-la28>

* ワールドトライアスロン・ミックスリレーオリンピッククオリフィケーションランキング（MROQR）

<https://cms.triathlon.org/download-file/world-triathlon-mixed-relay-olympic-qualification-ranking-criteria-la28>

= 以上 =

<2026.4.9 理事会承認>